

## 避難解除後の課題確認

高木、長沢両  
副大臣が出席 福島・浪江町で協議会

高木陽介経済産業副大臣  
(原子力災害現地対策本部  
長)、長沢広明復興副大臣  
(ともに公明党) は24日、  
東京電力福島第1原発事故  
に伴う避難指示が今年3月



31日に一部で解除され  
た福島県浪江町の復興  
加速に向けた協議会に  
出席した。

席上、馬場有町長は、  
避難指示解除から4カ  
月近くたち、264人  
の町民が帰還したこと  
を紹介。「次の世代に

復興加速への決意を述  
べる高木(中央)、長  
沢(右隣)の両副大臣  
24日 福島・浪江町

町を残すため、財政問題の  
解決へ有意義な議論を進め  
たい」と強調した。

長沢副大臣は、帰還困難  
区域内にインフラ整備と除  
染を一体的に進める「特定  
復興再生拠点区域」(復興  
拠点)を設置することに向  
け、「引き続き現場主義で  
取り組む」と訴えた。

会合では、①まちづくり  
②農林水産業③商工業―  
の分野ごとに、国、県、町  
の担当者で開催してきたワ  
ーキンググループ(WG)  
の現状が報告された。

終了後、高木副大臣は「避  
難解除後の町の具体的な課  
題が確認できた。WGを継  
続し、時期をみて協議会を  
開きたい」と語った。